

標準化の普及活動について

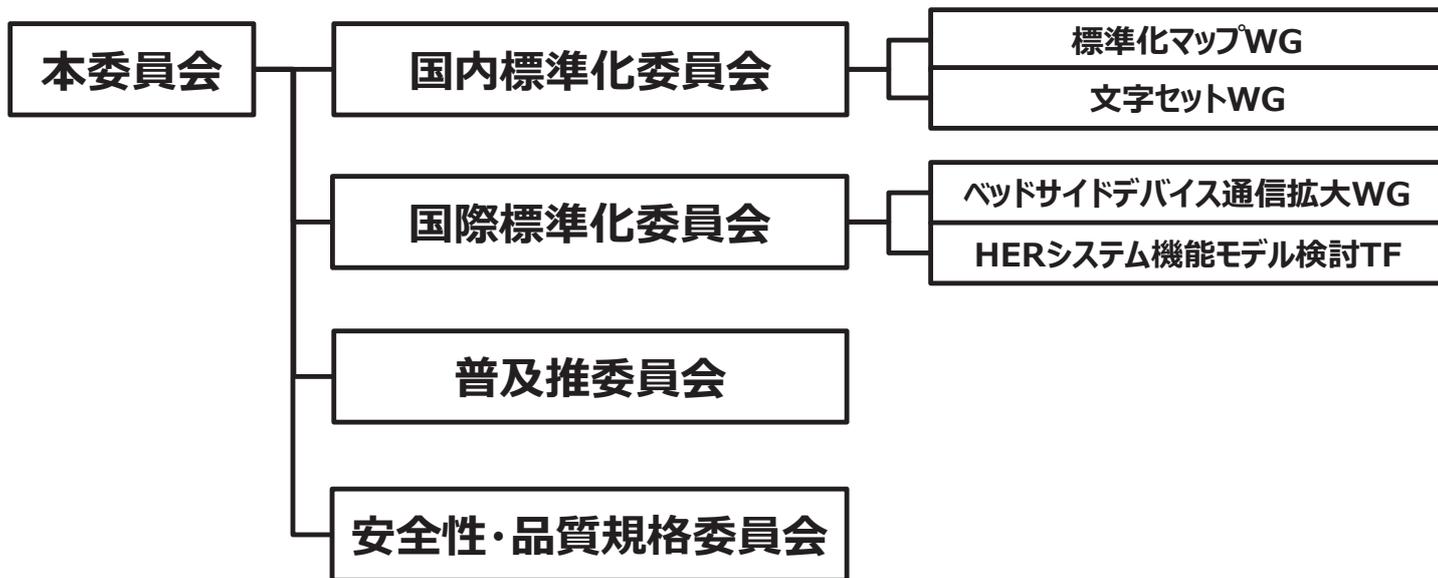
2018年11月22日
標準化推進部会普及推進委員会

JAHIS 標準化推進部会

標準化推進部会は、保健、医療、福祉の質や効率の向上に情報技術を通じて貢献できるよう、情報の効果的な利用基盤構築に欠かせない標準化を推進し、その普及に努める。

部会の主な事業は以下である。

- (1) 標準化推進に係わる課題の検討と関係機関との調整
- (2) 国内外の標準化活動の推進
- (3) 保健医療福祉情報システムの標準化の普及と促進
- (4) システム、ソフトウェアの安全性や品質に係わる課題の検討



第一の目的として

現場最前線にいる営業マンが医療情報の標準化に対する取組みを理解し、積極的に提案できるよう普及活動を行う。

営業中心のメンバー構成

委員長 : 富士通株式会社
 副委員長 : 日本電気株式会社
 日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社日立製作所
 株式会社NTTデータ アイ、株式会社ソフトウェア・サービス
 キヤノンメディカルシステムズ株式会社
 東芝メディカルシステムズ株式会社 (当時)

2010年
発足

約10年前・・・



標準化に関する各項目の理解度

標準化に関する各項目の理解度、顧客からの問合せについてスコアで回答してもらう

- 【項目】
- ① 医療情報の標準化
 - ② 自社の標準化の取組み
 - ③ IHE-J
 - ④ SS-MIX
 - ⑤ JAHIS標準類
 - ⑥ 標準マスタ
 - ⑦ 総合運用性実証事業
 - ⑧ HL7
 - ⑨ DICOM

- 【回答】
- 理解度スコア
- 1:知らない
 - 2:単語レベル
 - 3:概要説明
 - 4:目的内容説明
- 顧客からの問合せ
- 1:ある
 - 2:ない

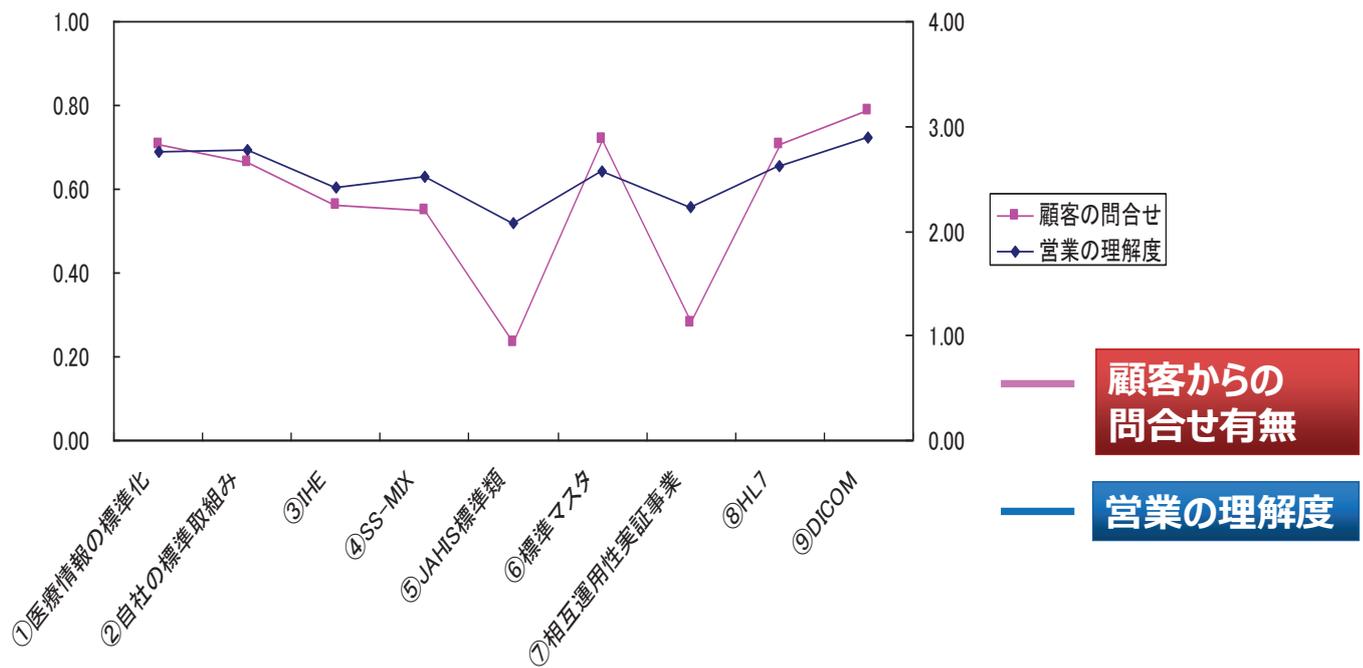


有効回答

営業

100名

※営業経験年数毎に区分け



- ①標準化に対する現場担当営業の理解度を高める
 - ・各用語の解説ツールの整備
 - (目的、メリットをイラスト等で解り易く)
 - ・各種団体の相関図の整備
 - (活動の中心メンバー、イベント等も)
 - ・予算を考慮し、段階的に整備
- ②システムベンダー、医療機関の関心を高める
 - ・標準化関連の話題を積極的に行う (営業として)
- ③活動の成果の振り返りを行う
 - ・再度ヒアリングを行い、理解度の向上を確認する
- ④導入システムの現状調査と評価
 - ・導入システムの現状調査方法を検討する
 - ・調査結果の評価方法を検討する

パンフレット第一版の発行

医療情報システムの標準化について

「厚生労働省標準規格」
「HELICS」
「JAHIS標準」
「IHE-J」
「SS-MIX」
「MEDIS標準マスタ」

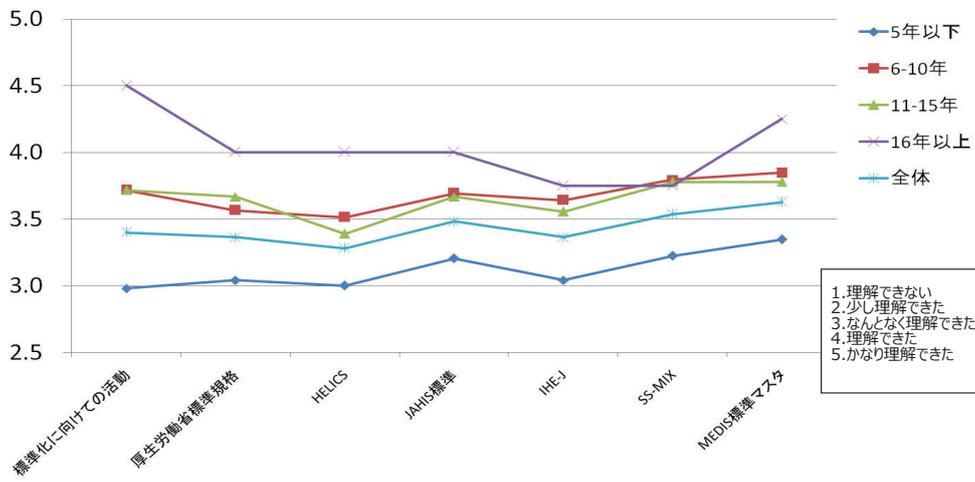
標準化に向けての活動

標準化関連用語
(切り離して持ち歩けるカード式)

第二回ベンダ担当営業 ヒアリング結果

・第2回普及推進アンケート調査を実施。

【パンフレットの理解度について】



第1回普及推進アンケート調査に比べ、JAHIS標準、SS-MIX、MEDISといった項目の理解度が高まっている。

医療情報の標準化について [Vol.2]

「HL7」
「ICD-10」
「DICOM」
「医薬品HOTコードマスタ」
「IHE統合プロフィール」
「JLAC10」

医療情報システム標準化関連用語 [Vol.1]

HELICS協議会

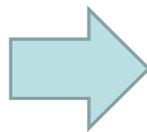
厚生労働省標準規格

第一版のアンケートにて他の標準規約に関する解説要望があり継続して発行

【回答】

理解度スコア

- 1: 全く知らない
- 2: 単語を聞いたことがある
- 3: なんとなく知っている
- 4: 知っていた
- 5: 詳細や目的を語れる



【回答】

理解度スコア

- 1: 全く理解できなかった
- 2: 少しは理解できた
- 3: なんとなく理解できた
- 4: 理解できた
- 5: 詳細や目的を語れる

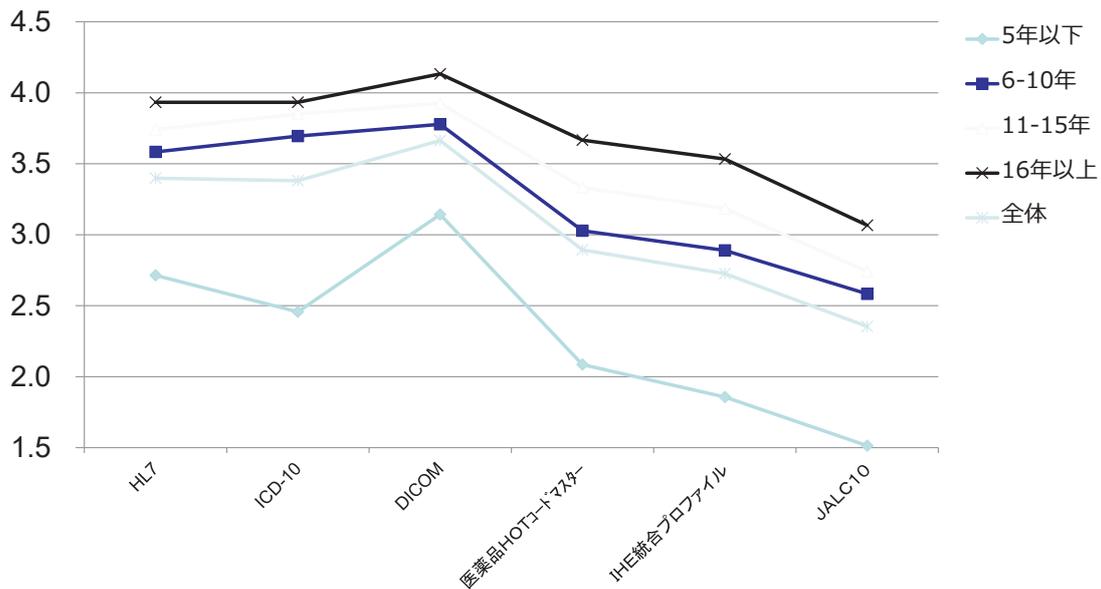


読む前の認知度



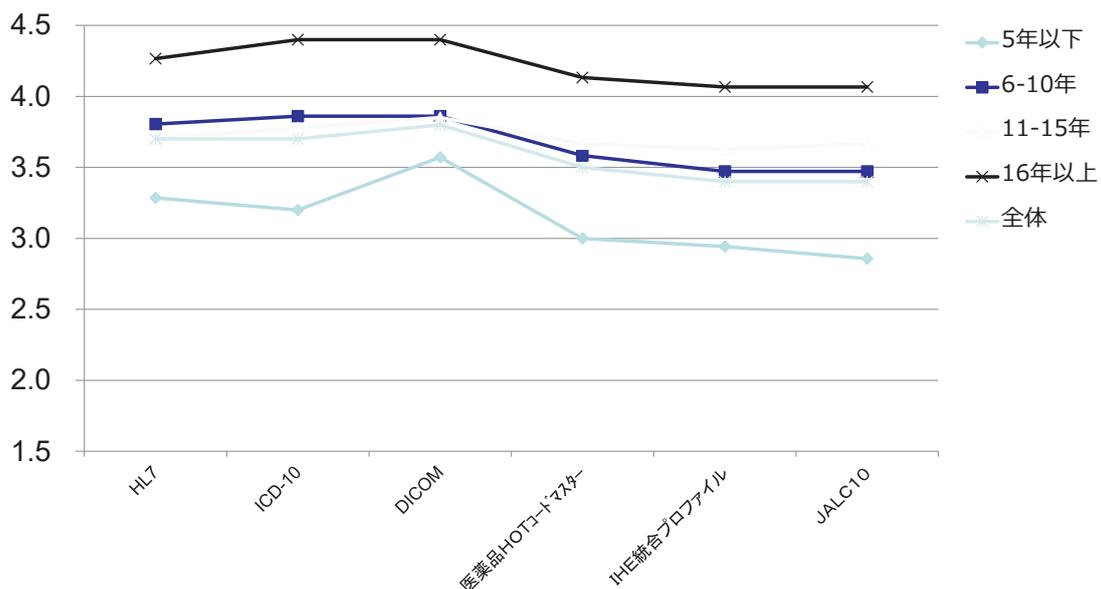
読んだ後の理解度

第三回ベンダ担当営業（読む前）ヒアリング結果



経験年数が長いほど認知度も高い。HOT,IHE,JLAC10は平均で2以下（聞いたことがあるレベル）という低い認知度であった。

第三回ベンダ担当営業（読んだ後）ヒアリング結果



認知度と比較して、理解度はかなりハイスコアに向上している。各用語の理解レベルも平準化している。

JAHIS アンケート内容「現場」での標準化の理解度を確認

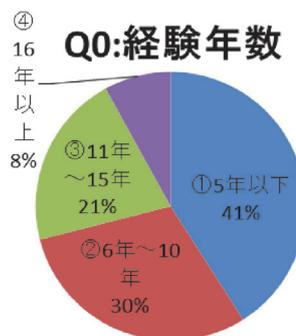
- Q0 : 医療情報営業の**経験年数**
- Q1 : 標準類の**理解が深まったか**
- Q2 : パンフレットVol3に**記載の用語(24)を聞いた事**あるか
- Q3 : パンフレットVol3に**記載の用語(24)を頻繁に使用**しているか
- Q4 : オーバービューチャートのレイアウトは把握しやすいか
- Q5 : 各詳細サイトへリンクする2次元バーコードは利用しやすいか
- Q6 : 顧客への提案時に役立つと思うか
- Q7 : パンフレットを見て新しい気づきがあったか
- Q8 : **標準化が進んでいる**と感じたか
- Q9 : 更なるパンフレットを希望するか
- Q10 : 続編で期待することは何ですか (自由記述)
- Q11 : **パンフレットVol1&2で解説した用語(12)を知っていますか。**



医療情報営業の経験年数

- ◇JAHIS会員会社営業に対し、アンケートを実施。
⇒5社 担当営業：100名
- ◇若手営業のスキルの確認として、可能な限り「医療情報システム営業」の経験年数が少ない営業を中心にアンケートを実施。

経験年数	人数
5年以下	41
6～10年	30
11～15年	21
16年以上	8
計	100



医療情報システムの標準化について 【集約版】



(これだけは知っておきたい)
医療情報システム標準化関連用語①

厚生労働省

厚生労働省は、平成23年3月31日現在厚生労働省医務局長室(保健医療政策推進課)で所管されている。この中で、医療情報システムの標準化に関する業務は、「医療情報システム標準化推進委員会」が所管している。この委員会には、JAHIS、JPHS、JIPS、JPCS、JMS、JDC、JICDなどが参加している。JAHIS協会の前身は、厚生労働省医務局長室に設置されていた「医療情報システム標準化推進委員会」である。この委員会では、医療情報システムの標準化に関する業務を推進している。また、JAHIS協会の前身は、厚生労働省医務局長室に設置されていた「医療情報システム標準化推進委員会」である。この委員会では、医療情報システムの標準化に関する業務を推進している。

HELICS協議会

医療情報システム標準化推進委員会(HELICS協議会)は、保健医療政策推進課(保健医療政策推進課)で所管されている。この中で、医療情報システムの標準化に関する業務は、「医療情報システム標準化推進委員会」が所管している。この委員会には、JAHIS、JPHS、JIPS、JPCS、JMS、JDC、JICDなどが参加している。JAHIS協会の前身は、厚生労働省医務局長室に設置されていた「医療情報システム標準化推進委員会」である。この委員会では、医療情報システムの標準化に関する業務を推進している。

(これだけは知っておきたい)
医療情報システム標準化関連用語②

HL7

HL7 (Health Level Seven) は、システム間で医療情報を交換するための標準化されたメッセージング規格であり、HL7が中心として開発されている。HL7は、医療情報システムの標準化に関する業務を推進している。また、JAHIS協会の前身は、厚生労働省医務局長室に設置されていた「医療情報システム標準化推進委員会」である。この委員会では、医療情報システムの標準化に関する業務を推進している。

ICD-10

ICD-10は、世界保健機関(WHO) 統合分類分類法である。ICD-10は、医療情報システムの標準化に関する業務を推進している。また、JAHIS協会の前身は、厚生労働省医務局長室に設置されていた「医療情報システム標準化推進委員会」である。この委員会では、医療情報システムの標準化に関する業務を推進している。

監事 藤田 隆雄 (2017年9月時点) 代表取締役 藤田 隆雄 (2017年9月時点)

代表取締役 藤田 隆雄 (2017年9月時点) 代表取締役 藤田 隆雄 (2017年9月時点)

JAHIS

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

〒105-0004 東京都港区赤坂2丁目11番地 新館2F TEL: 03-3509-8010 FAX: 03-3509-8070

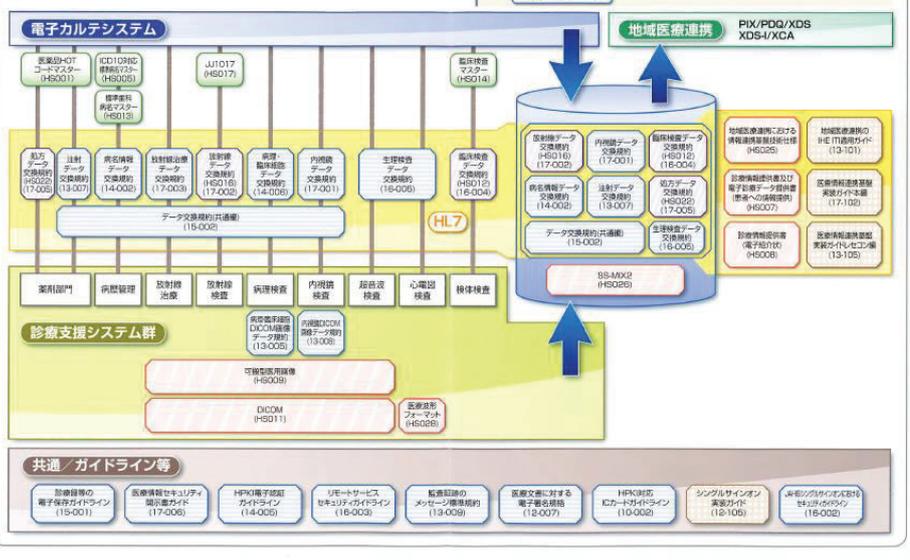
URL: <http://www.jahis.jp>

Copyright © 2017 JAHIS All Rights Reserved. 2017年11月現在

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

医療情報システムにおける標準類オーバービューチャート

- 2017年9月時点の、各システムと主要な標準類(規格・規格・マスター等)の関係を示したものです。
- 標準類を網羅的に表示するために、大規模医療機関で構築されるシステムを例に作成しております。
- 記載スペースの関係上、一部正式名称を省略して表示しております。



標準化に向けての活動



一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

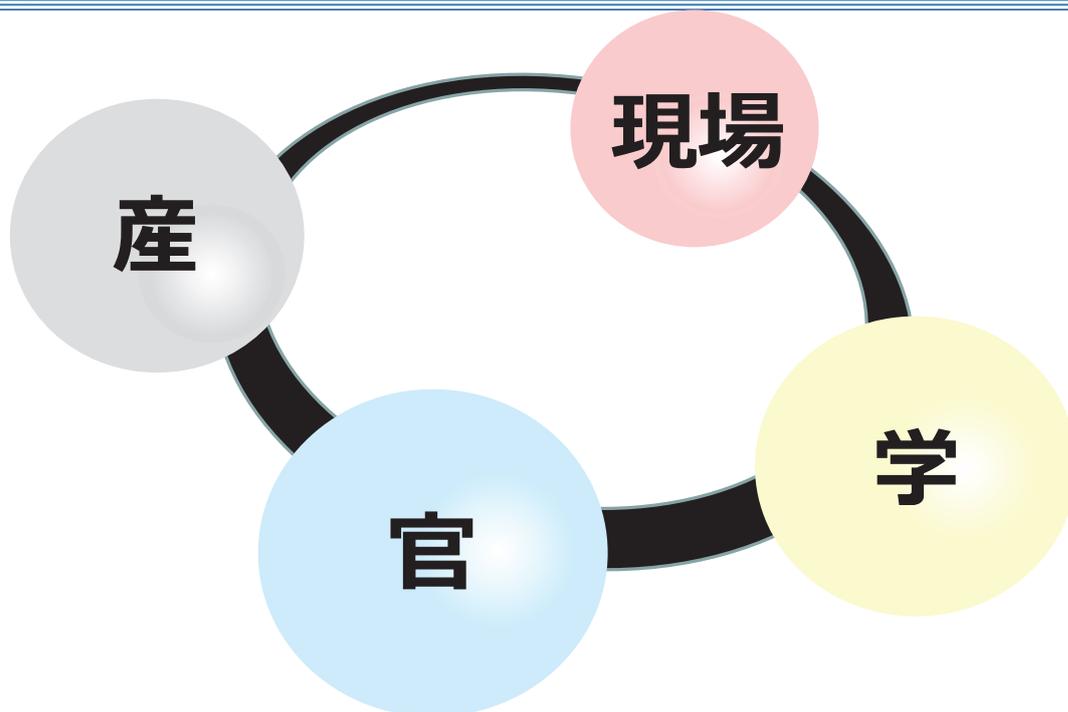
- ・若年層の底上げをすれば、中堅も認知度・理解度があがるのではないか
- ・熟年層が中堅層より認知度が低い項目がある
 - ⇒熟年層は現場から離れているからか
 - ⇒現場トレンド（補助金など）から遠いからか
- ・若年層には項目が多いかもしれない
 - ⇒優先的に知っておく必要があるものを認定したほうがよい



**更なる普及のためパンフレットの配布とともに
普及セミナーを開催**

ターゲット：現場最前線にいる若年層の営業マン

- ①標準化に関するレベリング
 - ⇒理解すべき標準化の優先順位
- ②JAHISセミナー実施
 - ⇒教育カリキュラムへの組み込み
 - ⇒生涯学習ができるようなe-Learningも考慮
 - ⇒提供ベンダーとしての資格認定（初級・上級）も考慮
 - ⇒インセンティブ
- ③年度によるホットキーワードに関する研修会の開催



ご清聴ありがとうございました